

□議員名：中村博行

## 1 厚陽地区の活性化について

|    |   |
|----|---|
| 論点 | 来年度から「学校教育法」の改正により「義務教育学校」の創設が可能となったが、厚陽小中学校への適用はどうか。   |
| 回答 | 平成24年度に施設一体型小中連携校としてリニューアルして以来、児童生徒間、教職員間の交流、研修も進められ、地域協育ネットの推進に尽力されており、「義務教育学校」としての新設も視野に入れ、県や国の動向も注視しながら、鋭意検討、研究していく。 |

|    |   |
|----|---|
| 論点 | 旧厚陽中学校の跡地の利用として、児童生徒減少対策のため、市営住宅の要望があるがどうか。   |
| 回答 | 中学校解体後はグラウンドとして利用する目的で整地した。現状、体育の授業やクラブ活動として利用している。また、体育館は避難所にも指定されている。防災上有利な土地であるので、老朽化した厚陽公民館の状況もあり、将来を考え、今後の検討課題である。 |

|    |  |
|----|--|
| 論点 | 潮の干満に関わらず、船の出入港ができる航路の確保だけでもできないか、切実な問題である。厚狭漁港の浚渫計画はあるのか。   |
| 回答 | 状況は十分認識しているし、漁港の安全性、新規就労意欲の向上、消費者への水産物供給等も念頭にあり、浚渫の必要性は認識している。矢板工法、石積み工法など多種多様な工法を含め、重要な問題として、関係機関と協議を重ねて対応していきたい。 |

## 2 厚狭駅南の整備計画について

|    |   |
|----|---|
| 論点 | 市民期待のコンパクトなまちづくりモデル推進事業の進捗状況はどうか。   |
| 回答 | 駅南地区は新幹線駅に近い利点はあるものの、民間活力で住宅整備を進めるための魅力としては不十分である。魅力を高める施策とコーポラティブ方式を導入したモデル住宅整備を合わせることで、まちの魅力をPRしながら、住宅整備の誘致を予定している。 |

|    |   |
|----|---|
| 論点 | 本市の玄関ともいえる新幹線厚狭駅南の駐輪場については、以前から指摘しているが、整備を検討しているか。  |
| 回答 | 駐輪場整備計画はないが、JRとも協議したところ、様々な問題があり、困難な状況である。しかし、駅南の市街化が進み、駅利用者が増加すれば、当然駐輪場の整備が必要となる。今後もJRと協議を進めながら、設置の必要性も含め研究していきたい。 |

### 3 太陽光パネルについて

|    |  |
|----|--|
| 論点 | 近年、急激に増え続ける太陽光パネル設置についての苦情の状況はどうか。また、ワンストップ的な相談窓口を設置してはどうか。  |
| 回答 | 昨年度は、メガソーラー設置による健康被害や環境被害の相談と土地の雑草対応についての相談の合計2件があった。今後も太陽光パネルの設置が進められると考えられるので、相談については、庁内部署と連携を取りながら対応していく。 |

|    |  |
|----|--|
| 論点 | 今春の北関東の突風、先月九州地方の台風により太陽光パネルが破損散乱したが、安全対策に本市独自の規制を設けるべきではないか。  |
| 回答 | メガソーラーの設置は、電気事業法にのっとり安全性は確保されていると考える。また、都市計画法上の開発行為にも該当しない。しかし、市条例で基本書類はもちろん、開発区域住民等の同意書の添付も求めている。他にも、事業内容を周知するよう指導している。 |